

白い森小国から



K-PRODUCTSの今社長が思ったことを執筆し、「ジムニーショップの生の声が聞ける」と話題を呼んだ『白い森小国から』がNo.81以来の復活！それまで同様、限界ギリギリの業界裏話やパーツ開発秘話、レースのこと、山形のことなど、幅広いネタをお届けします。

文／今修 写真／編集部

ここがダメ！を知りたいんだけど

皆さんお久しぶりです。約2年振りに【白い森小国から】が復活しました。なぜ2年間もお休みしていたかというと…

決してサボっていたワケではなく、日々の仕事とレースの主催、そして商品開発や海外出張、耐久レースへの参戦、サポートライダーの車両メンテや自社レースカーのメンテなど…。腰を据えてじっくりと原稿を書ける時間が少なくなり、迷惑を掛けそうだったのでしばらくお休みしておりました。

この一年を通してバタバタと動き回り、騒がしくしているので面白いネタや、伝えたい事が沢山ありました。とは言え、さすがに何を書いてもイイというワケにはいかない。書いて良い事と悪い事があるので、その辺を吟味しながら書かなきゃならないのが、かなり難しく時間がかかるもの。

ところで、前から【白い森小国から】を書きながら思っていた事があるんだけど…。俺の場合、情報や知識を得るために雑誌を読むんだけど、スーパースージーの読者さんは何を求めて読んでいる人が多いのかなあ？

多分だけど、興味あるのは「商品開発の秘話的な事」や、「あの商品はどんなのよ？」的な、業界人でなければ分かりえない話とかに興味がある人が多いんじゃないかなあ？ 実際はどうなんだろう？

先日、あるスポーツ用品雑誌関係者の人と食事している時に「雑誌って結構いい事しか書かれてないけど、この商品のこ

こが良い、ここがダメ！と、ハッキリ書くコーナーとかあったら面白いのでは？」という話をした。そうしたら「それは無理と言うか難しいというか…」と返答された。その理由を聞くと、「まずその良し悪しをジャッジする人がどんな人でどんな経歴を持っていて、どの程度のレベルの人であるかが重要。たいした経験や知識のない人に『ダメ！』って言われたら、当人は納得いかない、読者にも説得力がない。なにより、そのジャッジ役を誰も引き受けたくないだろう」とのこと。なるほど！それや～そ～だ！誰も憎まれ役は引き受けたくないもんね。

でも、スーパースージーにこの類のコー

粗悪品だとともに走らないし、すぐに壊れることが多い



最近はネットで粗悪品が大量に出回っています。できればデモカーなど、実際に試乗してから買うのが理想的なんですけどね。

ナーあったら面白いんじゃない？是非やってみてほしいな～。まあ、あくまでも俺個人の意見だけだね！もし実現したら誰がジャッジする？いるじゃないですか適任の方が！商品知識も豊富、海外レースへの参戦経験があり、ジムニー日本最高速保持者で、日本国内の数々のレースで優勝、そしていまだ現役で国内の耐久レースに参戦し表彰台常連の方が！この人以外にジムニー界では適任者はいないと思いますけどどうですかね？編集部の皆さん、そして二階堂さん！

いきなり何でそんな事を言い出したかという、一般ユーザーから電話の問い合わせというか、悩み相談がとにかく多いから。「パーツを買おうと雑誌を見ているが、良い事しか書いてない。この商品と比べてこうだとか、チョット残念な部分も書いてもらえる選びやすいんだけど、その辺を教えてください」という内容がほとんど。その気持ち、俺もよ～くわかる。16年前、ジムニーを買って自分でいじくり回していた時は、近くに専門店などなかったし、雑誌が唯一の情報源だった。だから、雑誌を舐めまわすように読みあさってパーツを選んでいた。そして取り付けて乗ってみたら…「え～、こんなものなの？」と、自分が求めていたものとは大きく違っていたなあ～なんて事が結構あった。

何種類も買って比べるワケにはいかないから、普通はこれで終わりだよ。だけど

JA11を自分でイジくり回してジムニーを学んだ



当店が普通の中古車屋だった時に下取ったJA11を愛車にしました。それからオフローディングにハマリ、もっと走れるよう雑誌の情報を頼りに色々イジっていたのです。正直「イマイチ…」なパーツも結構ありましたが、おかげで良い勉強になりましたね。

せつかくお金を払って買うからには失敗したくない。そこで、もうちょっと踏み込んで商品に関するご意見番的な第三者がいれば、一般ユーザーも商品を絞り込みやすくなって思うし、販売しているショップにとっても商品開発の参考にもなると思うんだけど。

あと、ここ1～2年特に多いのが、『足回り系のトラブル』で店に駆け込んで来る人。『サスを交換したらまっすぐ走らなくなった』、『ハンドルがブルブル』、『ブレーキを踏むとハンドルがとられる』、『ガチガチで乗り心地が悪い』、『フラフラする』等々。ちよっと前だと、過走行によるキングピンベアリングやハブベアリングのガタ、ブッシュ切れが多かった。最近はそんなに距離を走っていない車両も、トラブルで入ってくる。その100%近くが、安

い海外製(中国製？台湾製？)のショックとスプリング、ラテラルロッドなどを購入して、取り付けた後のトラブルなのだ。中にはスプリングが折れているなんてこともある。

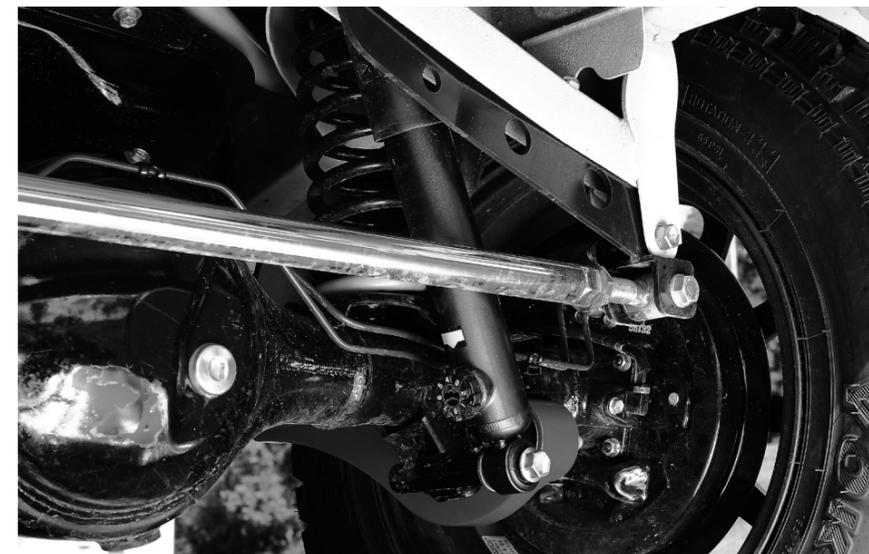
誤解しないでほしい。決して中国製や台湾製のパーツが悪いと言っているのではない。日本の大手自動車メーカーも、中国や台湾で多くのパーツを作っている。ではなぜ中国製や台湾製で、良品と粗悪品が出るのか？その理由は沢山ある。

たとえば製造工程だったり、製品チェックの回数だったり…。部品を1,000個作るとして、時間を短縮すればコストは抑えられる。それが値段に反映されて、見た目もサイズも一緒に安いものができ上がる。しかし工程を省いて作られたモノは耐久性がないし、製品チェック回数が少なければ不良品が多く出る。見た目が普通でも、使うとすぐに壊れる、潰れる、折れる、へたるなどの症状が出て修理が必要となるのだ。

(株)金曜日という出版社の『買ってはいけない』というシリーズの本がある。これを読むと『何も買えなくなるほどズバツ！』と書かれているのだ。そこまでとは言わないが、ジムニーのパーツでも『安いけどすぐに壊れるパーツ特集』とか、『車高は上がるけど乗り心地最悪特集』みたいな企画があったら面白いと思う。

次号からの【白い森小国から】も、ちよくちよこのへんのネタに触れて書いていくつもり。パーツの開発秘話も予定しているけど、やっぱり詳しいことまでは書けないな(笑)。

耐久レースで壊れないサスを追求しています



オリジナルパーツ、特にサスペンションは「耐久レースで壊れないこと」を追求。ガンガン走って楽しめるように仕上げています。